

神奈川県議会議員 たかはし 栄一郎



かながわ自民党 新人議員の 県政レポート

発行所
たかはし栄一郎事務所
横浜市保土ヶ谷区川辺町6星川プラザマンション1F
電話:045-337-1234 <http://takahashi.eco.to>

県議会本会議において一般質問をさせて頂き、多くの方に傍聴にお越し頂きました。普段は県議会で何をしているのかなかなか解りにくいと思いますが、実際に県政の諸課題について知事とのやり取りをご覧頂き、少しでも感じて頂けたら嬉しい限りです。2月26日本会議一般質問の一端をご報告させていただきます。

旧東海道の魅力を活かした観光振興について

知事に質問!



旧東海道は五街道のひとつとして、また日本を支える大動脈として、人・物・文化の交流に大きな役割を果たしてきました。県内には保土ヶ谷宿など9つの宿場が置かれ、現在でも周辺には名所・旧跡が数多く残っており、それぞれの地域ごとに旧東海道の魅力発信に取り組んでいます。

地域主体の取組みは、観光振興はもとより、郷土愛の醸成や地域経済の活性化にも寄与しており、地域資源として高い潜在能力を持つ旧東海道の魅力を最大限に引き出し、さらなる観光振興につなげるためにも、各宿場が連携した観光魅力作りや情報発信の充実が必要であると考えます。そこで、県としてどの様に取り組んでいくのか知事に質問しました。



▲ 宿場と駅伝をモチーフにしたデザインマンホール

知事からは、「アドバイザー派遣等により希少な観光資源の磨き上げを行い、旧東海道の魅力を積極的にPRしているが、さらに進めていくためにはそれぞれの地域の連携を深めることが重要である。

現在、旧東海道の歴史を活かしたユニークな取組みを行っている地域を訪れるフィールドワーク形式の講習を計画。また、スマートフォンを使い旧東海道の宿場町を巡るスタンプラリーを実施する。

本県にとって旧東海道はかけがえのない財産であり、今後とも地域の方々と連携して旧東海道の魅力を今まで以上に磨き上げ、PRしていくことが、観光客の誘致拡大や地域振興につながると確信している。」と、積極的な回答が得られました。

お正月の風物詩『箱根駅伝』は宿駅伝馬制度からヒントを得たと言われており、保土ヶ谷宿には宿駅伝馬朱印状が今も保管されています。そしてこの度、保土ヶ谷区は大手運輸会社と9つの分野で包括協定を結びました。観光・文化・地域振興分野では、宅急便で使用する箱の周りに保土ヶ谷宿の浮世絵を印刷して、保土ヶ谷宿の魅力を国内外に発信していくという取組みなども新たにスタートします。



<イメージ>

旧東海道は7都府県にまたがりますが、神奈川県独自の取組みを行い、400年の歴史が詰まった観光資源をしっかりと活かしていただきたいと強く要望しました。



近年、公共交通機関や公共施設のバリアフリー化が進み、子供を連れて外出する時にベビーカーを利用しやすい環境になってきていますが、ハード面の整備のみならず、ベビーカー利用者のマナー向上と、周囲の理解や意識向上という両方の取組みが必要だと考えます。国では昨年度、ベビーカーの利用に関する協議会が設置され、ベビーカー利用者や周囲の双方に向けた普及啓発活動が進められています。

一昔前はベビーカー利用率も低く、その中で子育てをしてきた方々がいる事も承知していますが、核家族化が進み、少子化の中で横浜や川崎のように子育てがしやすい街に魅力を感じ、子育て世代と子供たちが増加するということは地域にとっても未来に明るい兆しとなります。ベビーカーが利用しやすい街というのは、車いすの方や、歩行補助車などを利用されている様々な世代の方々にとっても暮らしやすい街と言えるのではないのでしょうか。親子が気兼ねなく外出できることは、子育てをする親の孤立を防ぐ事にもなり、子供が犠牲となる事件の防止にもつながるものと考えます。

県としてベビーカーを利用しやすい環境づくりにどの様に取り組んでいくのか、知事に質問しました。

* * * * *

知事からは「子育て家庭が気軽に外出できるようになるためには、施設のバリアフリー化などハード面の整備とともに、『心のバリアフリー』とも言ふべき、ベビーカーを利用する人への周囲の理解や配慮を進める必要がある。県ではこれまでも、福祉・教育・経済などの関係団体やNPO、行政等を構成員とする『神奈川県子ども・子育て支援推進協議会』により子育てを応援する県民総ぐるみを運動を進めてきた。また平成25年に近隣都県や鉄道事業者と共同で『九都県市鉄道での安全なベビーカー利用に関するキャンペーン』を実施、ポスター掲示により安全利用と気遣いを広く呼びかけた。今後も、民間や市町村主導のベビーカーを利用しやすい環境づくりを積極的に後押ししていきたい」という答弁がありました。

幼稚園関係団体や民間交通事業者、経済関連団体を中心に『赤ちゃんにやさしい街づくり協議会』を発足する動きがあります。また3月29日横浜市営地下鉄駅頭でベビーカー利用者や周囲の意識啓発を促すキャンペーンも行われる予定となっています。これからもこの様な取り組みを県内各所に普及させていきます。

県内でも幼い子供が犠牲となる事件が後を絶ちません。子供達が夢を持ち、健やかに成長することができるようにする為にも、社会全体で子供達を見守る環境整備が急務です。

『赤ちゃんにやさしい街』が『子育てにやさしい街』そして『誰にもやさしい街』に発展していくように、誰もが安心して暮らせる街づくりに全力で取り組みます！



▲九都県市鉄道での安全なベビーカー利用に関するキャンペーンポスター

▼国土交通省のベビーカーマーク

案内図記号	禁止図記号

そのほか、●女性医師の就業継続支援体制について ●臨床研究中核病院への支援について ●都市部の鳥獣被害対策について 質問しました。

商店街の活性化に向けた個人商店支援について

知事に質問!



元気な商店街には元気な個人商店が多く集まっています。商店街を形成している個人商店が衰退すれば、商店街も衰退してしまうので、地域活性化に取り組む個人商店を後押しするためにも、商店街への支援と同時に、PTA、消防団、自治会など地域活動の担い手でもある個人商店への支援も重要であると考えます。



商店街の活性化に向けた個人商店支援について、県としてどの様に取り組んでいくのかたずねました。

* * * * *

知事からは「商店街を構成する個人商店、特に地域のリーダーとなるような意欲的な個人商店を育てることは大変重要であり、これまでも地域の活性化に意欲的な個人商店に対して、中小企業診断士などを派遣しアドバイスを行う等、商店街のみならず地域全体の盛り上がりにつながるよう積極的に支援してきた。

県内には多くの個人商店があり、課題も多種多様なため、今後はアドバイザーによる直接的な支援をより充実させ派遣回数を増やすとともに、幅広い分野の専門家を派遣しニーズにあった支援をしていきたい。また、支援を求めている個人商店を掘り起こす取組みも重要なので、地域の信用金庫など地域の実情に詳しい金融機関にも協力していただきアドバイザー派遣制度を周知していきたい。」という回答がありました。

なんと50%OFF!! 『ふるさと旅行券』販売決定!!

国の交付金を活用し本県の観光振興と地域の活性化を行う事業として、県内の対象となる旅館・ホテルで使用可能な『ふるさと旅行券』10,000円分を5,000円で販売します。(27年6月頃から販売予定)

また、神奈川の魅力ある観光スポットを巡るツアーを様々な旅行会社から募り、そのツアー料金も半額で販売される予定です。

観光立県を目指す本県では、全国的なPR活動を行い神奈川の魅力を国内外にアピールします。国内観光客はもとより、2020年オリンピック・パラリンピックで来日する多くの外国人旅行者にも楽しんでいただける取組みで、県内経済の活性化を進めます。



商店街でも免税店

本年4月1日から国の名税店制度が変更になります。今後は地域の商店街でも免税店として登録しやすく、また手続きを一括で行う事が可能となります。同時にクルーズ船のターミナルに設置する仮設店舗での免税店登録が簡素化されます。

客船寄港数日本一『横浜港大さん橋』の近くに位置する保土ヶ谷区。大さん橋への出張商店街や外国人観光客向け商店街ツアーなどの取組みを進め、賑わいのある商店街の活性化を進めます。

たかはし栄一郎 県政報告会開催中!

ご近所やお友達など少人数で集まって、お茶を飲みながら高橋栄一郎とお話しませんか? 県での出来事などもお話しさせていただきながら、皆様のご要望にお応えできればと思います。ぜひ皆様のお話を聞かせてください。5人程度からでも伺います。機会を設けてくださる方は事務所までぜひご連絡ください♪



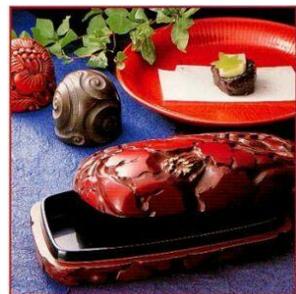


県内には、鎌倉彫、箱根寄木細工、小田原漆器といった伝統的工芸品が存在し、国の指定を受けています。伝統的工芸品はライフスタイルの変化などにより需要が低迷し、生産額の落ち込みに伴い、その企業数、従事者ともに減少を続けています。伝統的工芸品の需要を開拓して市場を維持拡大することにより、伝統的工芸品産業を活性化していくことが、本県の伝統的工芸品を次世代に伝承していくために重要であり急務であると考えます。2020年東京オリンピックパラリンピックの開催は、伝統的工芸品を国内外へ広くアピールするチャンスであり、本県の伝統的工芸品を次世代にきちんと引き継いでいくために、こうしたチャンスを逃すことなく、対策を検討することが必要です。

そこで、本県の伝統的工芸品の需要拡大に向けてどの様に取り組んでいくのか聞きました。

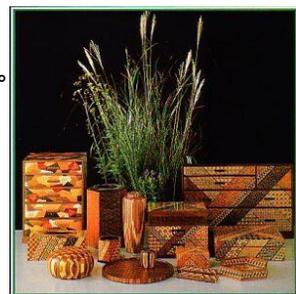
* * * * *

知事からは、「鎌倉彫、箱根寄木細工、小田原漆器はいずれも地域の歴史と文化に育まれた神奈川が誇る伝統的工芸品であり、将来にわたって引き継いでいくことは大変重要である。そのため、PRや販路開拓を図るとともに、新製品の開発・デザイン指導、売れる商品作りの支援、若手人材育成支援にも取り組んでいるが、生産額は平成6年度から平成24年度までで半分以下に減少している。



▲ 鎌倉彫

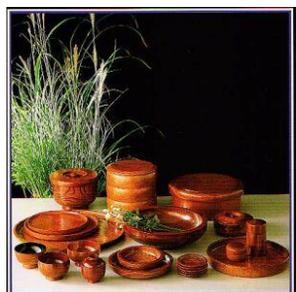
今後は、こうした市場の縮小に歯止めをかけ、新たな需要を喚起し売り上げを安定させる取組みが必要であり、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催は、今後ますます増加する外国人観光客を、新たな顧客として獲得する絶好の機会だと考えている。そこで、本県の伝統的工芸品がオリンピックの公式グッズとして採用されるよう、大会組織委員会等に働きかけていきたい。



▲ 箱根寄木細工

さらにオンラインショッピングサイトを開設して全国に販売していくとともに、全国規模の広報を展開し、その魅力を日本中にアピールする予定。

伝統的工芸品は本県が世界に誇るすばらしい芸術作品でもあるので、今後とも様々な機会を捉えてPRすると共に、いつまでも魅力ある産業として次世代に引き継いでいきたい。」という具体的な答弁を得ました。



▲ 小田原漆器

来年度は、国の交付金を活用し伝統的工芸品を含む『かながわの名産100選』など本県名産品等を期間限定割引(3割引以上)で販売するオンラインショッピングサイトやカタログ販売体制を整えることも決定しました。

今後、本県の魅力発信に積極的に取り組んでまいります。

「たかはし栄一郎」県政レポート 配布ボランティアを募集しています!

- ① たかはし栄一郎の県政レポートをご近所等にポスティング配布して下さるボランティアの方
- ② 広報掲示板をご自宅等に設置して下さる方
(大きさ:90cm×90cm)

* **ご協力頂ける方がいらっしゃいましたら
事務所までご連絡ください**



県政に対する皆様のご要望を
お待ちしております!!
↓ご意見ご要望はこちらまで↓
たかはし栄一郎事務所

TEL:045-337-1234

FAX:045-337-1243

✉ takahashi.eiichirou@sky.plala.or.jp